

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
<p>希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成</p>	<p>生徒・職員の情報活用能力を育成するとともに、ICTを有効活用した学習づくりを行う。</p> <p>学習指導要領の内容が確実に身につくように、地域の教育資源を積極的に活用し、地域の特性を生かした教育課程を編成する。</p>	<p>A</p>	<p>・分かる実感を味わえる授業ができるよう、1回の授業研究会を通して、指導方法の検証をすることができた。</p> <p>・協働学習を位置付け、仲間と練り合うよさを味わわせることができた。</p> <p>・学習支援ソフトの有効利用を教科部で検討し、生徒の学習に取り入れることができた。</p>	<p>○タブレット端末が活用されている。中学生にとって身近なツールなので、積極的かつメリハリのある使用ができています。</p> <p>○職場体験等地域の方の力を借りることで、生徒の興味や知識の広がりにつながってよい。</p>	<p>・協働学習は交流する中身や質を向上させ、見方や考え方を深めていきたい。</p> <p>・表現力については、個に応じて段階的指導を行えるよう配慮する。</p> <p>・タブレット端末の多様な活用の仕方を生徒・職員で身に付けていくことで、生徒の多様な学びにつなげることができる。職員の活用研修を継続していく。</p>
<p>コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進</p>	<p>支援推進委員会を核に、「虹風づくり・作業学習」「地域貢献」「安全・安心」のために地域と連携し、生徒のためのチーム学校の組織をつくる。</p> <p>地域貢献を柱にした「ボランティア活動」や虹風を柱にした「ぎふMIRAI's」を積極的に推進し、幼小中高の学びの連携を図る。</p>	<p>B</p>	<p>・支援推進委員会やPTAが積極的に学校運営にかかわり、学校の活性化や環境設備の充実を図ることができた。専門委員会「学び(虹風づくり)」が生徒支援に積極的に参画できた。</p> <p>・1年生の総合的な学習の時間は、支援推進委員会「学び部(鏡島風揚げを楽しむ会)」を講師とし、郷土文化理解が深まった。</p> <p>・小中一貫教育として「協働学習」の教育実践を行うことで、生徒同士で学び合える関係が築かれている。</p>	<p>○鏡島島区では、長良川風揚げ大会開催において、地域、学校が一緒になって継続できている。風作りを通して、小、中、高が一体化していると感じる。</p> <p>●地域活動への参加は評価できるが、一部の生徒に限られており積極的とは言えない。</p> <p>○校区の数々のボランティアに参加していただき大変ありがたい。</p> <p>○中学生が作った虹風をメディコスみんなの森で見えてきた。地域として誇りに思います。</p> <p>○公民館ではシニアだけでなく若い世代に利用してもらうことが全国的に課題であるが、9月から精華中作動部、演劇部が利用してくれており感謝している。</p>	<p>・「精華中学校区の子供たちを学校・地域で育てる」ために、学校と地域の協働活動を推進していく。</p> <p>・小中一貫では、セイカの間(総合的な学習)の時間における指導計画を小中の学習内容を交流し合って9か年の指導計画を作成していく。今後、生活・学習・特別活動の指導において、小中の共通理解、連携を深めていく。</p> <p>・支援推進委員会やPTAと連携し、地域資源を有効に活用したぎふMIRAI'sを編成する。</p>
<p>あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり</p>	<p>協働学習を基盤とした「スマイル活動」を進め、生徒間に安心・つながり、絆を生み出し、思いやりのある学校風土づくりをする。</p> <p>互いに尊重し合い、声をかけ合いカバーし合う雰囲気と職員集団を育成する。</p>	<p>A</p>	<p>・生徒、保護者アンケートでは、楽しく学校生活を送れていると答えたのが、生徒は92%、保護者は91%であった。生徒の自主性を大切にした活動の成果だと思われる。</p> <p>・生徒会が中心になり、スマイル活動を推進し、生徒の中でも根付いてきている。</p> <p>・小中合同オンラインミーティングを開催し、3校の児童会、生徒会活動の成果や課題の交流ができた。</p>	<p>○交通安全旗当番で毎月立っているが、中学生の皆さんがあいさつや声掛けをしてくれてうれしい。</p> <p>○スマイル活動によって、自主性、協調性が養われていくように感じます。</p> <p>○生徒会役員を中心に積極的に活動する姿が見受けられる。</p> <p>○職員間の連携が取れている。働き方改革も進み、先生方の意欲につながるとよい。</p> <p>○リレーマラソンに教員がチームとして参加され生徒と先生および保護者の一体感がとても素晴らしく、精華中の雰囲気の良さを実感しました。</p>	<p>・生徒会を中心として、精華中学校の生徒がスマイルになるスマイル活動を充実させる。また、生徒の自主性、創意工夫ある活動を充実させる。</p> <p>・日常の活動や行事の取り組みの中で、仲間との関わり合い、協力、思いやりを生み出す。また、「仲間とともに成長できた」と言う喜びを実感させる。</p>

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
<p>災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保</p>	<p>「命を守る訓練」「交通安全学習」等を実施し、自ら命を守る意識を育てる。地域の一員として被災時に貢献できるスキルや危機回避能力の育成を図る。</p> <hr/> <p>いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止と早期発見に取り組み、生徒の思いに寄り添った対応を組織的に考え、早期解決に努める。</p>	<p>B</p>	<p>・「命を守る訓練」では、実際に災害が起きた時を想定して訓練を実施することができた。</p> <p>・交通事故(特に自転車事故)に関わる安全指導を継続して行うことができた。</p> <hr/> <p>・いじめの未然防止のため、いじめ対策監を中心に、あたたかい人間関係づくりを育む取り組みができた。</p> <p>・生活アンケートや日常の生徒観察などから情報を得るとともに、生徒が安心して生活できるように組織で対応を考えることができた。</p>	<p>○被災時に貢献できる態度、実践できる力の育成に努めていただきたい。</p> <p>○中学生が主体で何ができるか考えることが大切だと思う。</p> <p>●学校内での訓練、学習はできていると考えられるが地域での連携はできていない。地域防災訓練の参加は皆無である。</p> <p>●災害から命を守る訓練はきれいごとでは済まない。覚悟をもって指導していただきたい。</p> <hr/> <p>○いじめ防止基本方針があることで、困っている子に早く対応ができるし、いじめに対して毅然とした対応が取れる。</p> <p>○トラブル解決に早急な対応が取れている。</p>	<p>・「自分の命は自分で守る」意識と行動力向上のため、掃除の時間や昼休みなどいろいろな場面を想定した訓練を教職員も含めて行っていく。</p> <p>・不審者進入時の対応訓練を実施する。</p> <p>・いじめへの取り組みでは、「予防」「早期発見」「よりよい対応」を大切にしている。なかでも、「予防」に重点を置いて取り組んでいく。「いじめを生まない、許さない環境づくり」「よりよい人間関係を育む」指導を充実させていきたい。</p>
<p>教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用</p>	<p>安全点検を組織的に実施し、生徒にとって安心・安全で学びやすい教育環境になるよう学校の教育環境の工夫改善を図る。</p> <hr/> <p>ICT(校務支援システム)を活用することで、業務内容をスリム化し、適切に管理を図る。</p>	<p>A</p>	<p>・安全点検表をもとに、毎月の安全点検を視点をもって実施し、必要に応じて、備品や施設整備を計画的に行うことができた。</p> <p>・産業医による安全衛生委員会が毎月行われ、職場環境の改善のために、職員への指導が行われた。</p> <hr/> <p>・業務のスリム化に向けて、ICTを効果的に利用する職員が増えてきた。</p>	<p>○校内の整理整頓が行き届いている。</p> <p>○エアコンも整備され、体育館も快適になり活動しやすくなる。</p> <p>●建物の古さ(特にトイレ)は、仕方ないがもっと快適になるとよい。</p> <hr/> <p>○スマート連絡帳がこまめに配信され、保護者も早く情報を得られるし、ペーパーレスにもつながってよい。</p> <p>○ICTの活用により、業務内容のスリム化が進められておりよい。</p>	<p>・生徒が学びやすいように環境を整備し、安全・安心を担保することで、落ち着いた学習環境をつくりだす。</p> <p>・校舎内外施設の老朽化もあるので、日常の安全意識を向上させる。</p> <p>・業務の精選については、スリム化の先に授業の充実や生徒の安心があるように心掛ける。</p> <p>・すべての職員が、学校財務にも意識できるよう機会をとらえて研修を行う。</p>